

### Ⅲ 知的障害・発達障害

## 1. 「知的障害・発達障害」ってどういうこと？



ゆっくりだけど、出来ることは増えていきます。  
外見からは、**困難**が見えにくいですが、みんなと同じように**接**してください。

### 1) 知的障害

知能の発達に遅れがあり、お金の管理、読み書き計算など、日常生活や学校生活の上で考えて行動することに**支障**があることをいいます。

物事を理解したり、周りの人とうまくつきあうことができないなど、社会のしくみや流れにうまく合わせる**こと**が苦手です。

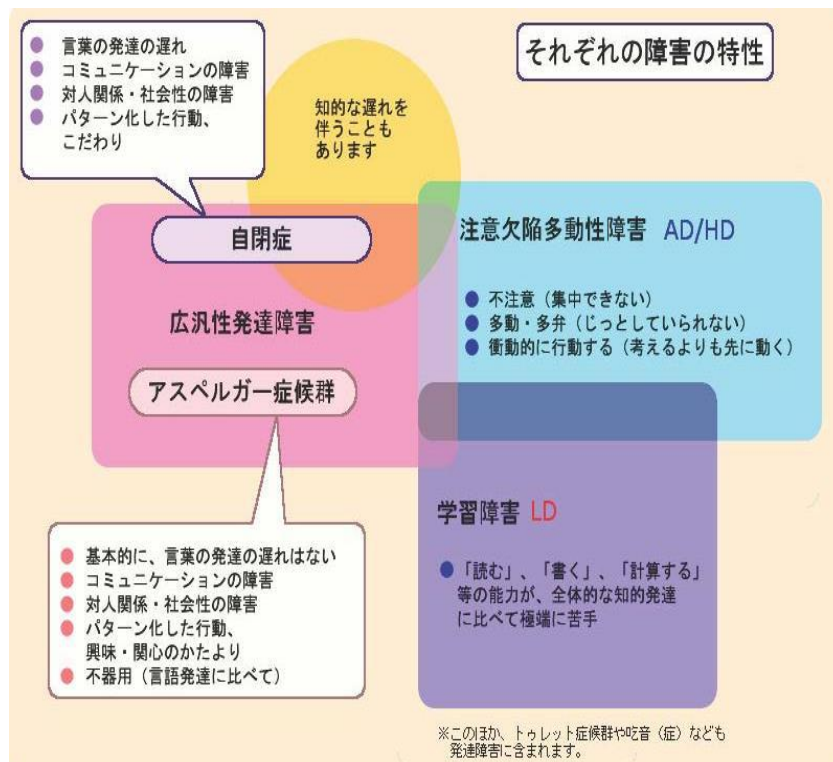
### 2) 発達障害

生まれながらの**脳**の機能障害で、**低年齢**期にその**症状**が現れると言われています。

全般的な知能の遅れがある場合と異なり、発達の**バランス**にばらつきがあり、**人間関係**や**コミュニケーション**が苦手であるため、**周囲**の理解と**支援**が必要です。

**自閉症**、**アスペルガー症候群**その他の**広汎性発達障害**、**学習障害**、**注意欠陥多動性障害**などの**総称**です。

知的障害をあわせもつこともあります。



※国立障害者リハビリテーションセンター・  
発達障害情報・支援センターより資料提供

## 2. こんな生活を送っています



周りのサポートがあるとみんなと同じように暮らせます。



[写真でのスケジュール]

### 1) どうすると分かりやすく伝わるの？

○耳からの情報じょうほうより目からの情報のほうが分かりやすいことが多いです。

(写真・絵・文字・ジェスチャー・実物など)

○人によっては、単語等たんごとう みじか かんたんで短く簡単に伝えてもらうと分かりやすいです。

○抽象的な言葉ちゅうしょうてきや難しい言葉むずかではなく、なるべく具体的にくわんていなっていると分かりやすいです。

例:「ちょっとまってね」ではなく「10秒数えてまってね」

○オウム返し(他の人が言ったことをそのまま繰り返して言うこと)をすることもあります。



### 2) みんなとの関わり方は？

○社会のルールりかいの理解むずかが難しい人もいます。

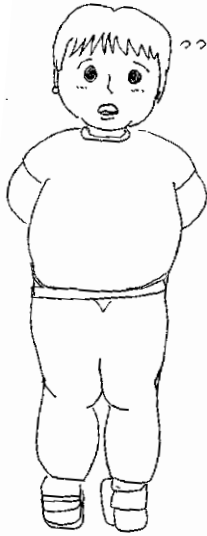
(写真や絵・文字でわかりやすく伝えてください)

○集団しゅうだんが苦手な人が多く、2,3人など小さなグループの方がリラックス出来る人もいます。

○同じ遊びをくり返す人もいます。



親の会を作って活動しているグループもあります。

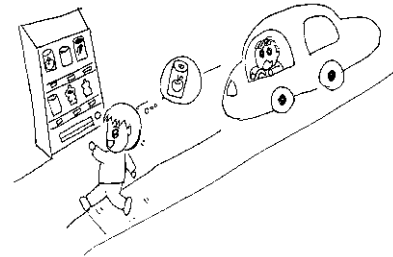


相手の気持ちを読み取ることが  
むずかしく、思ったことを口にして  
しまいます。  
なぜ良くなかったのかを説明  
してくれると嬉しいです。



### 3) 色々な移動手段と気を付けることは？

- 交通ルールが理解しにくいので、危険が判断できず飛び出したりする人もいます。
- 色々なことが気になってしまい、立ち止まり動けなくなったり急に走りだしたりしてしまうことがあります。
- ヘルパーや家族についていってもらって、外出する人もいます。
- 自転車や車の運転ができる人もいます。
- 一人で電車に乗ることができる人もいます。



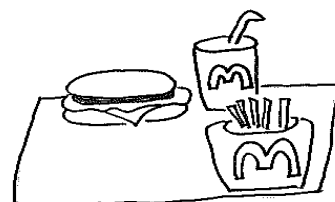
### 4) スポーツの楽しみ方は？

- ルールの伝え方の工夫と繰り返しの練習があると分かりやすいです。
- 集団のスポーツは、まわりの動きが気になってしまいます。

### 5) 料理をする時やメニュー選びの工夫は？

- 料理をするときは誰かと一緒にすることが多いです。
- レシピや動画があると、わかりやすいです。
- 料理が好きな人もいます。
- 外食でメニューを決めるときは、絵や写真で表示がしてあると、決めやすいです。
- こだわりがあり、同じものでもメーカーによって食べられなくなる人もいます。

例：A店のハンバーガーは食べられるが、  
B店のハンバーガーは難しい。  
いつも同じだと安心するからです。



## 6) どんな仕事をしているの？

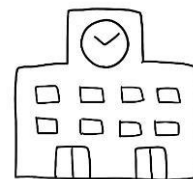
- 会社やお店などで働いている人、福祉<sup>ふくし</sup>の制度<sup>せいど</sup>を利用して働いている人もいます。
- 趣味<sup>しゅみ</sup>や芸術<sup>げいじゆつ</sup>分野<sup>せんもん</sup>・研究<sup>けんきゆう</sup>などの専門<sup>せんもん</sup>分野<sup>ぶん</sup>で力<sup>ちから</sup>を發揮<sup>はつき</sup>する人もいます。
- 会社などで働くため、仕事の訓練<sup>くんれん</sup>を受ける人もいます。



こだわりをいかせば、強い関心<sup>かんしん</sup>を、仕事の能力<sup>のうりよく</sup>に  
いかすことができる人もいます。

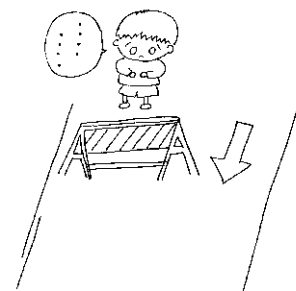
## 7) 学ぶ場所はどんなところ？

- 特別<sup>とくべつ</sup>支援<sup>しえん</sup>学級<sup>がくきゅう</sup>
- 通常<sup>つうじょう</sup>学級<sup>がくきゅう</sup>
- 特別<sup>とくべつ</sup>支援<sup>しえん</sup>学校<sup>がっこう</sup> (旧<sup>きゅう</sup>・養護<sup>ようご</sup>学校<sup>がっこう</sup>)
- 大学<sup>だいがく</sup>・専門<sup>せんもん</sup>学校<sup>がっこう</sup>



## 8) こんなことも知ってほしいな

- それぞれに、こだわりや行動<sup>こうどう</sup>があります。  
例：手をひらひらさせる。  
飛び跳ね<sup>とびはね</sup>る。体を前後<sup>ぜんご</sup>する。
- 変化<sup>へんか</sup>・変更<sup>へんこう</sup>が苦手<sup>がた</sup>です。  
急に予定<sup>よすえい</sup>が変わることが難<sup>むずか</sup>しかったり、新しい取組<sup>とりぐみ</sup>みに対して不安<sup>ふあん</sup>が強い人もいます。
- 初めて行く場所は事前<sup>じきん</sup>に見学<sup>けんがく</sup>に行くと安心<sup>あんしん</sup>できます。
- 特定の場所<sup>とくてい</sup>・物<sup>もの</sup>・形<sup>かたち</sup>・順番<sup>じゆんばん</sup>・数字<sup>すうじ</sup>などに「こだわり」をもつ人もいます。  
例：電車の時刻表<sup>じこく</sup>や駅名<sup>せいかく</sup>を正確<sup>せいかく</sup>に覚えている。  
スーパーで缶<sup>かん</sup>などの向き<sup>むき</sup>をそろえる。  
例：いつも通っている道<sup>みち</sup>が工事<sup>こうじ</sup>等で行き止まりになっていると、  
先<sup>まへ</sup>に行けない。
- 感覚<sup>かんかく</sup>に鈍感<sup>どんかん</sup>だったり、敏感<sup>びんかん</sup>な人もいます。  
例：雑音<sup>ざつおん</sup>や突然<sup>とつぜん</sup>の大きな音<sup>おと</sup>が苦手<sup>がた</sup>です。  
運動会<sup>うんどうかい</sup>のピストルの音<sup>おと</sup>、ハンドドライヤー<sup>そうじき</sup>の音<sup>おと</sup>、掃除機<sup>そうじき</sup>の音<sup>おと</sup>



### 3. 本人にとってわかりやすくなる便利なグッズ<sup>べんり</sup>

#### ○ パーテーション

自分のことに集中<sup>しゅうちゆう</sup>できるように  
しています



#### ○ イヤマフ

まわりの雑音<sup>ざつおん</sup>を聞こえにくくする  
ことができます



#### ○ タイマー

時間の終わりを教えてくれます



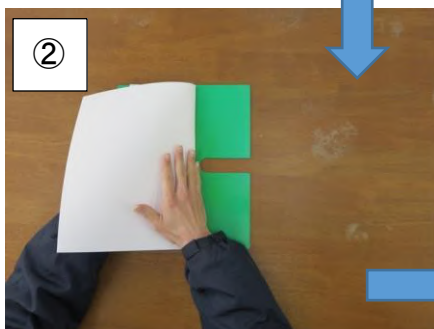
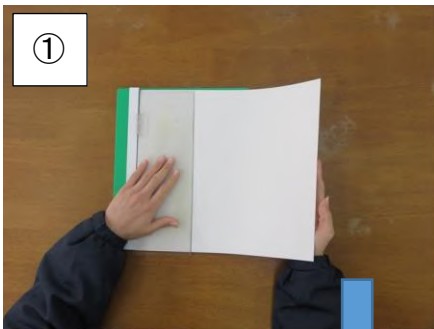
#### ○ タイムタイマー

残り時間が目でみえるようになって  
います

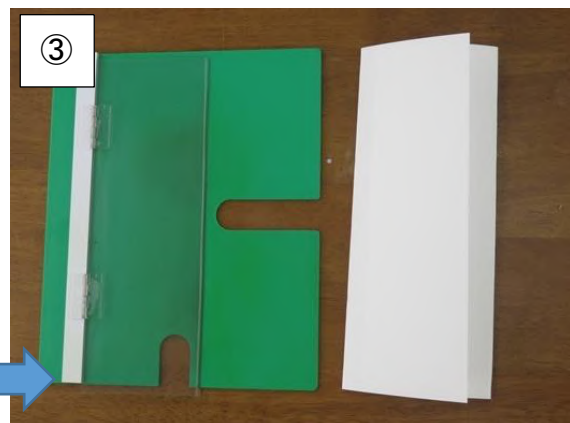


#### ○ 紙折り機<sup>おき</sup>

紙を3つ折りにする道具です(自助具)



お仕事で使う便利<sup>べんり</sup>  
グッズを紹介するよ<sup>しょうかい</sup>



## 4. みなさんへのメッセージ

### 『就職して思うこと』

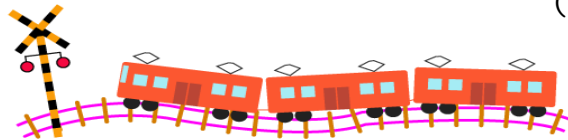
ぼくは特別支援学校を卒業し、就職してもうすぐ4年になります。

仕事は納期内に製品を作るのが大変ですが、出来上がったときはうれしいです。職場の方はいいに仕事を教えてください。最近では始めから終わりまで一人で作業することもあります。

給料をもらって、鉄道模型やゲームなど自分で欲しいものを時々買っています。お金をためて、名鉄のすべての路線に乗ることが夢です。そのためにも仕事をがんばります。

ぼくのように障害のある人たちが働ける場所が増えるといいなと思っています。

(半田市在住 20代男性)



### 『やさしくなりたいという思い』

私は、他の人から見ると、普通の人のように見えます。しかし、目に見えない障害が私にはあります。それは、自閉症という障害。生まれた時から人とコミュニケーションをとることが苦手でした。

家族や友達といった人たちには、自分から話しかけることが出来ます。しかし、初めて会う人と話すとなると、それが難しくなります。私は、小学5年生から中学3年生まで、クラスメイトから嫌がらせを受けました。もちろん、「嫌がらせをやめて欲しいな。」と思っていました。

しかし、クラスメイトに自分の思いを伝えることは出来ませんでした。

高校生になり、嫌がらせをしたクラスメイトとは離れ離れになりました。楽しい生活を送る中で、私の人生を変える出来事が起こりました。障害のある子どもとそのお母さん達が集まる「ふれあい交流会」に参加し、子どもたちの面倒を見る中で、ボランティアの学生さん達が子どもたちに優しくしていた様子を見たのです。その様子から、「自分も困っている人々に優しくなりたいな」と考え、どんな人にも優しくできる人を目指すために大学で学ぼうと決めました。

今では、日本福祉大学で友達と楽しい生活を送りながら、日々学んでいます。皆さんの周りには、常に人に優しくしている人はいますか？その人のように優しくなりたいと思えば、どんな人にも優しくすることが出来ると思います。

(美浜町在住 10代男性)

